

令和8年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)

－ 介護職発信事業 －

企画提案書



Blanket

株式会社Blanket

令和8年3月13日

事業実施主体について



「全ての人々が希望を語れる社会」をビジョンに掲げ、介護・福祉事業者に特化した採用・育成・定着支援「KAIGO HR」や介護に想いある人のコミュニティ「KAIGO LEADERS」等を運営しています。

会社名	株式会社Blanket
所在地	東京都文京区本郷3-30-10 本郷K&Kビル5・6階
設立日	2013年4月22日
代表者	秋本 可愛 (あきもと かあい)
従業員数	10名
事業内容	介護・福祉事業者向け採用・定着支援事業 人材育成のための教育・研修事業 コミュニティ運営事業 企画・プロデュース事業
受賞歴	第10回若者力大賞、第11回ロハスデザイン大賞 2016ヒト部門準大賞、Asia Pacific Eldercare Innovation Awards 2021「INNOVATION OF THE YEAR - CAREGIVER MODEL 部門にて最優秀賞、「ナゾと き介護探偵団」が第18回キッズデザイン賞



介護の採用・育成・定着支援事業



介護領域のコミュニティ運営



実施体制と パートナーについて

パートナー企業：株式会社ここにある

代表者 藤本 遼（ふじもと・りょう）

設立日 令和1年11月11日

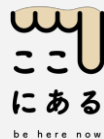
資本金 300万円

住 所 兵庫県尼崎市杭瀬南新町4-16-33 hrd3

業 務 まちづくり・コミュニティデザイン・クリエイティブディレクション

取引先 尼崎市／豊中市／川西市／生駒市／洲本市／草加市／兵庫県／阪神電気鉄道株式会社／阪急電鉄株式会社／株式会社ライフデザイン阪急阪神／株式会社いきいきライフ阪急阪神／東急不動産SCマネジメント株式会社／株式会社地域環境研究計画所／株式会社Happy／株式会社ベネクト／株式会社アスノオト／株式会社コーディアル／NPO法人グリーンズ／NPO法人月と風と／（一社）豊中市介護保険事業者連絡会／真宗教団連合／エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社など

連絡先 090-8208-2918 / info@coconiaru-inc.com（担当：藤本遼）



◎目指していること

すべての人が楽しみながらわたしとしての人生をまっとうできる社会にするために「社会における生態系の再編集」を行っている。さまざまな分野や世代、背景を持つ人たちとの関わりを生みながら「つくる（状況）をつくる」を目指す。企業や行政、NPOなどさまざまなセクターとの連携・共創をベースにプロジェクトや活動を進める。

◎具体的にしていること

イベント・地域プロジェクトの企画運営や立ち上げ支援、会議やワークショップの企画・ファシリテーション、共創的な場づくり・まちづくりに関するコンサルティングや研修などを行う。代表的なプロジェクトは「ミーツ・ザ・福祉」「カリー寺」「ふくらむフクシ研究所」「おつかいチャレンジ」「武庫之のうえん」など。

パートナー企業：株式会社社会の広告社

社会福祉HERO'S等を手がけてきた社会の広告社 山田英治氏を
スクール運営パートナーに迎え、受講生の学びを支援すると
ともに、より介護の仕事の魅力が社会に届くコンテンツ制作へ。

社会の 広告社

Creative for
sustainable society.



山田英治

株式会社 社会の広告社

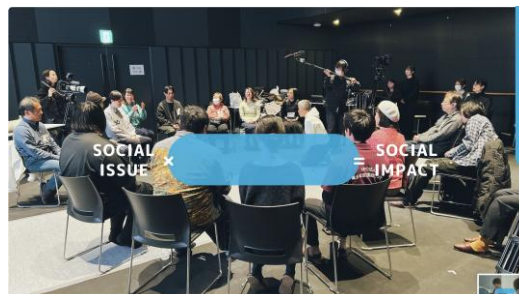
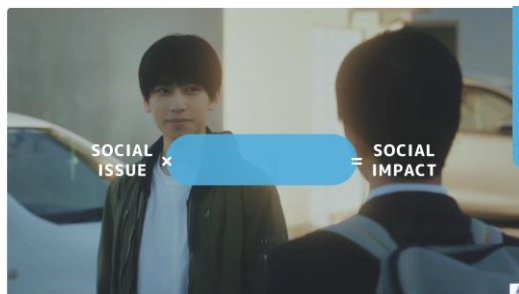
代表取締役/クリエイティブディレクター/映画監督

早稲田大学 政治経済学部卒業。博報堂入社後、コピーライター、CMプランナーを経て独立。2018年より社会テーマ専門のクリエイティブエージェンシー株式会社 社会の広告社を設立。脚本家、映画監督、構成作家、作詞家、イベントプロデューサーとして多岐にわたる活動を展開。NPO、NGOの広報キャンペーンや社会福祉法人のブランディング、内閣府、経済産業省、環境省、復興庁、厚生労働省などの広報戦略、神戸市、芦屋市、淡路市、洲本市、豊岡市、奈良市、和歌山県などのエリアブランディングを担当。若手福祉職によるスピーチコンテスト「社会福祉HERO'S」の企画の立ち上げから参加。プロデューサー、スピーチコンサルタントとして、多くの福祉職との関わりの中、福祉の仕事の面白さを知り、様々な福祉系の団体の広報や発信に積極的に関与している。

受賞歴：ACC賞、環境コミュニケーション賞、読売広告賞、国際グリーンイメージ賞、宝塚映画祭グランプリ他。



▶昨年度「KAIGO LEADERS SCHOOL AWARD 2025」において、ショート動画部門の審査員をご担当いただきました。



企画委員会

本事業がより多くの人に介護のしごとの魅力を届けられる事業となる様、多様な専門的な立場からご意見をいただける方を企画委員としてお力添えいただきます。委員の選定は事業主様と相談の上確定します。

■ 委員候補



はたつん

介護士インフルエンサー



高野 龍昭

東洋大学
福祉社会デザイン学部 教授



水口 怜斉

経済産業省
ヘルスケア産業課 課長補佐



小林大地

株式会社GO
クリエイティブディレクター



原 優実

株式会社ツクイ
執行役員 リレーションシップ推進本部

■ 委員候補選定理由

業界団体や事業者からの発信に限らず、SNSで介護職に本事業の情報を届けるための助言や、本プログラムに関して日常的に積極的にSNSを活用する中でのアドバイスをいただきます。

日頃学生と関わっている中で、学生の価値観や学生に届けるためには？という観点や、高野先生ご自身が、介護のことをわかりやすく世間に届ける実践をさまざまなメディアで発信されていらっしゃるお立場からご助言いただきます。

介護人材不足(介護サービスが受けられない状況)は家族介護者の負担が増すことから介護分野だけが取り組むべきテーマではないと考えており、経済産業省が手掛ける「OPEN CARE PROJECT」との連携など、自治体連携等の可能性に関する視点で助言をいただきます。

ユニクロのチアリーマンズを起用したCMや#VOICEPAY、ベイブレードやSKE48のプロモーションまで、世間の人々の心を動かす企画を手掛ける立場から、本企画を多くの人々の心に届く企画にするためのご助言をいただきます。

本企画において、事業者や介護職を巻き込むことが非常に重要になります。事業者への周知等を行う中で、どのようにアプローチができるか、また法人として介護職へ周知する際に必要な告知ツールなどご助言をいただきます。

※原さんは採択後に打診予定です。

事業統括・実施責任者のご紹介

事業統括責任者



秋本 可愛

株式会社Blanket 代表取締役
KAIGO LEADERS 発起人

大学時代に、介護現場でのアルバイトを通し「人生のおわりは必ずしも幸せではない」現状に課題意識を抱き、2013年(株)Join for Kaigo(現、(株)Blanket)設立。「全ての人が希望を語れる社会」を目指し介護・福祉事業者に特化した採用・育成支援事業「KAIGO HR」を運営。日本最大級の介護に志を持つ若者コミュニティ「KAIGO LEADERS」発起人。#ケアワーカーをケアしよう 発起人。Yahoo!ニュース公式コメンテーター。2021年よりNHK中央放送番組審議会委員に就任。2022年より厚生労働省「介護のしごと魅力発信等事業:事業間連携等事業」企画委員就任。2023年より同事業「情報発信事業」企画委員就任。

実施責任者



嶺 智恵

プログラムディレクター

介護の仕事に関心を持ち、介護事業会社に新卒で入社。有料老人ホームの介護職員や、就労継続支援A型事業所の職業指導員として勤務。KAIGO LEADERSに参加し、イベントの企画運営を担当。現在はBlanketで福祉人材の理解促進やキャリア教育に関する事業に携わり、福島県「かいごの理解促進事業」、厚労省「介護のしごと魅力発信等事業」などでプログラム運営や関係者調整を担当。



朴 なおみ

株式会社Blanket
クリエイティブディレクター
アートディレクター

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業後、外資広告代理店、クリエイティブエージェンシー、フリーランスを経て、2026年に株式会社Blanketに参画。認知症の祖母や訪問介護をしている姉の実態を知り、デザインで介護福祉の魅力発信や新しい価値提供に取り組んでいる。川崎市市章デザインや長野の老舗味噌店のリブランディングを手がけるなど地方デザインにも従事。

D&AD / CLIO / London International Awards / ACC / 読売広告賞など受賞



桑村美奈子

広報・プロジェクトマネージャー

東京で国際展示会やスポーツイベントの企画・運営・広報に携わった後、2015年に香川へ移住し独立。以降、フリーランスとして企業やNPOの広報、新規事業の立ち上げ、プロジェクトマネジメントを担う。介護、防災、子育て支援、地域づくり、福祉分野を中心に多様な現場を支援している。

2023年よりBlanketに参画。経済産業省「OPEN CARE PROJECT AWARD 2023」事務局担当。

事業方針について

本事業における介護の仕事の魅力発信の考え方



マスメディアでの発信

一度に多くの人へリーチすることができるが、
発信者と受け手に距離がある



個人の発信

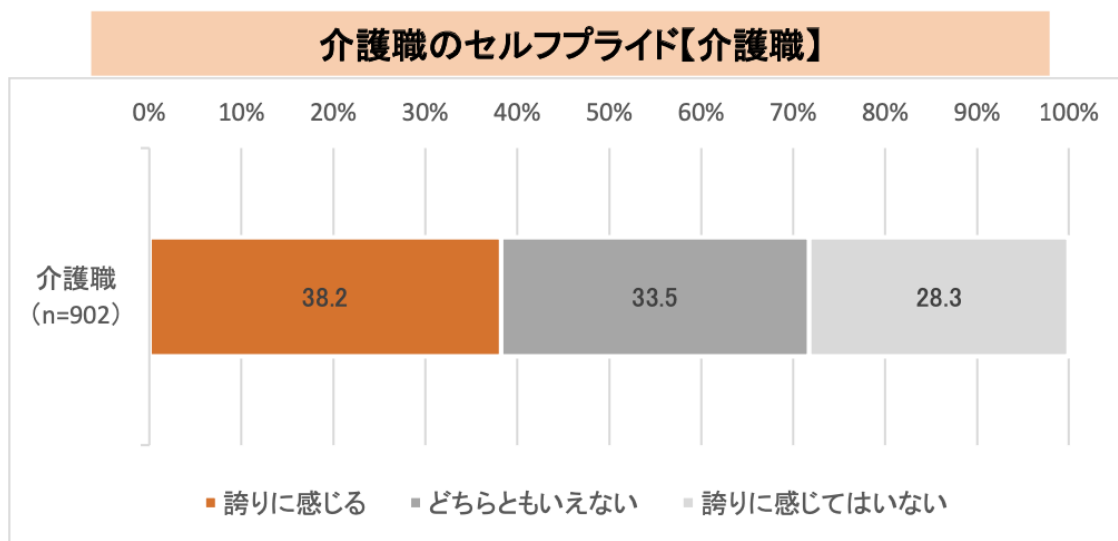
信頼している人からの発信は
共感や行動に繋がりやすい
ゆっくりだけど確実に広がる

「介護職発信」では、**介護職が自らの周囲に情報を着実に届けていくことで**
介護の仕事の魅力が伝わることを目指していきたいと考えています。

本事業における介護の仕事の魅力発信の考え方

介護の魅力発信をしたい介護職は、限定的。

仕事を誇りに思う介護職は、38.2%という結果が示されました。
”介護の仕事の魅力発信”を積極的に行っていきたいと考える介護職はさらに絞られると考えられます。



※引用：令和7年度 事業間連携会議におけるPwC社発表資料「介護職等へのアンケートから見る 魅力発信のポイント」より

事業方針①

“魅力発信をしたいとは思わない介護職”を巻き込む

個人による発信は、マスメディアに比べて広がり方はゆるやかだが、信頼や共感を通じて着実に届いていく特徴があります。そのため、発信する人の数や発信の機会を増やすことで、介護の魅力が届く層を厚くしていくことが重要です。

本事業では、**介護の仕事に誇りを持ち、積極的に魅力発信を行う層だけでなく、「介護の仕事は好きだが発信意欲は高くない層」が気軽に発信できる機会をつくります。**



事業方針②

課題：介護職の伝えたい思いが、そのままでは十分に伝わらない

介護職自身が伝えたい思いや現場のエピソードには大きな魅力があります。一方で、現場の日常をそのまま発信すると、未経験者には「大変そう」という印象で受け取られてしまうこともあります。令和7年度の介護のしごと魅力発信等事業で制作した受講生の作品の中には、もう一步表現をブラッシュアップすることで、介護の仕事の魅力がより伝わる可能性があると感じる作品も見られました。

『 介護職 × クリエイターの共創プロジェクト 』

介護職 × クリエイター



介護職

- 仕事への思い
- 仕事の醍醐味
- 喜び、葛藤

- 編集者
- 映像制作者



⋮

社会に届くコンテンツ

介護職の思いがより届く作品へ

介護の仕事の魅力発信人口を広げる2つのアプローチ

1



介護の日 SNSキャンペーン

魅力発信をしたいとは思わないが、
介護の仕事は好き・嫌いではない介護職

気軽な参加のきっかけ

2

KAIGO LEADERS -
SCHOOL

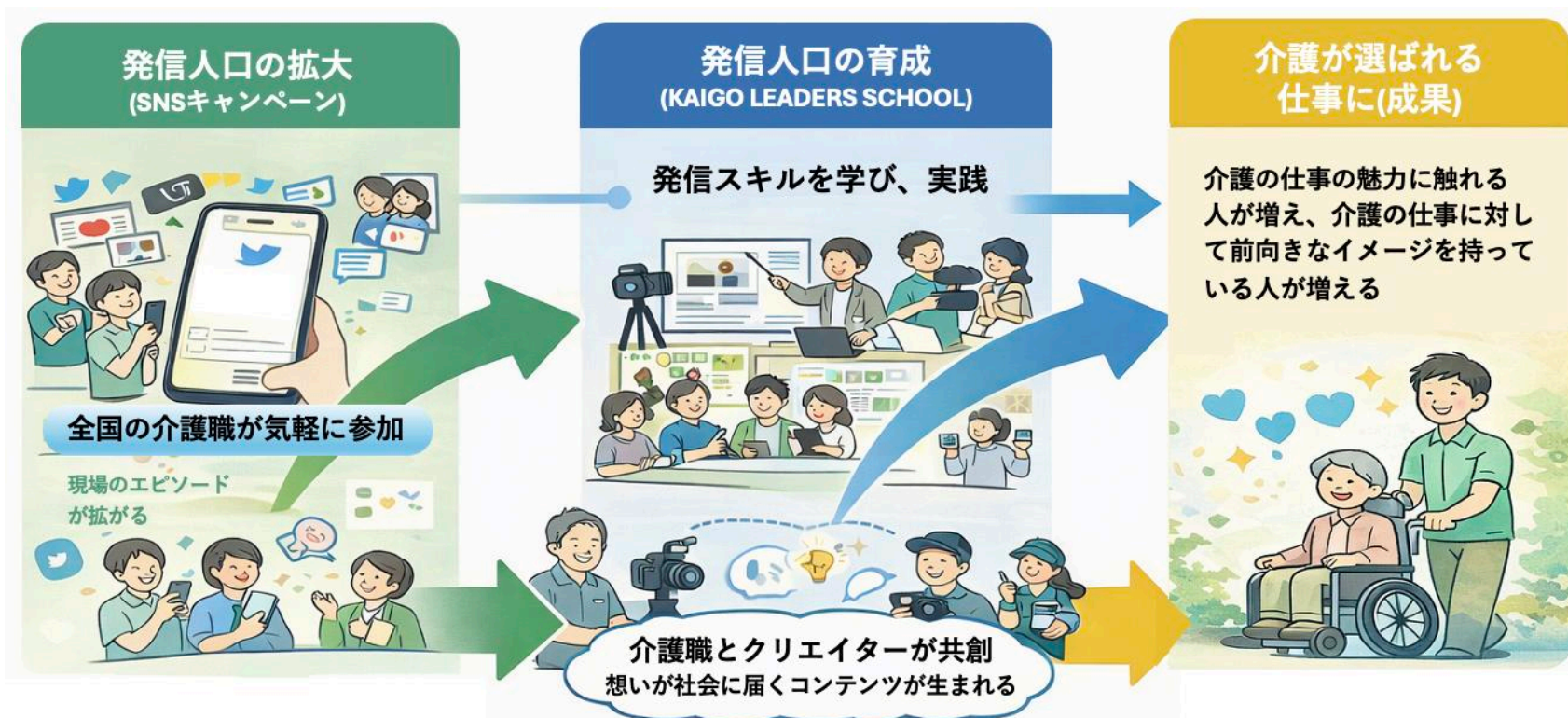
介護の仕事の魅力を届けたい、
伝える力を身につけたい介護職

伝える力を身につける

発信意欲の段階に応じて、気軽に参加できる入口と、
本格的に発信力を高める場の2つの場を用意します。

事業全体像 目指す姿

介護の仕事の魅力発信を行う介護職を全国規模で増やす挑戦を



「厚生労働省」の補助事業だからできる事業間連携、業界団体との連携、自治体連携の強みを活かして、たくさんの介護職とできる魅力発信を。

企画(1)

広く介護職を巻き込む

介護の日の参加型キャンペーン

企画(2)

意欲的な介護職の発信スキルを磨く
伝える力を養うスクール

KAIGO LEADERS - SCHOOL

- 伝える力が、介護の未来を創る - スキルアップ講座

令和7年度から引き続き、
介護職が“伝える力”を身につけ、
介護のリアルを社会に届ける人材を育成する
スクールを実施します！

学ぶだけではなく、
「介護の仕事の魅力を伝える」アウトプット
へつなげます。



介護職発信企画(2) KAIGO LEADERS SCHOOLとは

介護・福祉分野に特化したコミュニティ型オンラインスクール

KAIGO LEADERS SCHOOLは、介護・福祉分野に特化したコミュニティ型オンラインスクールとして2025年10月に開校しました。動画・ライティング・場づくりの3講座を通じて、介護・福祉の領域で活躍するプレイヤーが仲間と共に学び・成長することを目的としています。

単なるスキル習得にとどまらず、受講者がアウトプットの中で「小さな成功体験」積み重ね、その成功や挑戦を語り合い、称え合いながら継続的な行動変容を促す「コミュニティ主導型」の仕組みを採用しています。

学習スタイルに合わせて2つのコースを用意

プロと一緒に、学んでアウトプットを行う「実践コース」と、自分のペースで学べる「視聴コース」の2つがあります。

	実践コース	視聴コース
定員	各講座20名	定員上限なし
受講スタイル	原則リアルタイム受講	リアルタイムでの受講可 ※ただし講座によってはリアルタイム参加不可
アーカイブ	すべて	すべて
課題	必須	なし
プロの伴走	あり	なし

※令和7年度は視聴コースではなく、アーカイブコースでしたが、講座によってリアルタイムでの参加を可能となったため、コース名を「視聴コース」に変更しました。

KAIGO LEADERS SCHOOLの令和7年度の実績

〈実施実績（2025年度）〉

実践コース：139名（SNS50名/ライティング50名/場づくり39名）

アーカイブコース：306名

実施期間：2025年10月～2026年3月

2025年度は受講生による発信作品として、動画・記事・企画など計91作品を制作し社会に発信しました。



No.4 とある日の午後...今日のクラブ活動は人気の〇〇!!



No.21 寄り添うことから始まる介護の仕事



No.16 楽しい秋祭り

〈KAIGO LEADERS SCHOOL AWARD 2025（成果発表）〉

マガジンハウス「こここ」、朝日新聞「これからのKAIGO」、社会の広告社と連携し、一般投票による受講生作品のアワードを実施しました。受講生による作品を社会に向けて発信するとともに、投票サイトには総PV621,355、アクティブユーザー数409,337が訪れ、総投票数は2,264票にのぼりました。



〈受講生の活躍〉

スクール受講後、受講生の作品や取り組みが他の表彰式で受賞するなどの成果が生まれています。また、自身のSNSやブログで継続的に発信を始める受講生も現れ、受講生一人ひとりのアクションを通じて、介護の仕事の魅力が社会へと広がっています。



経済産業省「OPEN CARE PROJECT AWARD」にてライティング講座の受講生2名の作品が受賞



「かながわ福祉サービス大賞」で場づくり講座の受講生が優秀賞を受賞

(参考)KAIGO LEADERSについて



KAIGO
LEADERS.

KAIGO LEADERSは「すべての人に、カイゴリーダーシップを」をビジョンに掲げ活動する、介護に関心を持つ1人ひとりの力でより良い社会を目指すコミュニティです。全国の思いある人が集い、共に学び、つながる場を数多く実施してきました。これまで参加者はのべ8000名を超え、様々なプロジェクトが生まれています。

本事業に活かせる強み

1. 介護職・講師とのつながり
2. 一歩踏み出すプログラム運営
3. イベント実施ノウハウ



活動開始から12年、全国の思いを持った介護職とつながってきました。また業界内外、本質的な学びを届けてくれる魅力的な講師とのつながりもできました。



講義を一方的に聞くだけではなく、参加者同士が交流し新たな繋がりが生まれたり、行動を起こしたくなる場を作ることにこだわり様々な共同プロジェクトが生まれています。



対面とオンラインのハイブリッドイベントも数多く開催してまいりました。オンラインのみしか参加できない受講生も関係構築につながるようフォローしていきます。

昨年度の実施を踏まえたスクールのブラッシュアップ

令和7年度のスクール開催を経て、介護の魅力がより伝わるようにブラッシュアップします。

改善ポイント

1. 参加しやすさ・継続しやすさ

3時間×5回の講座出席が難しく離脱する受講生もいたことから、アーカイブ動画を活用し、プログラム本数を5回から4回に変更。プログラム時間も3時間→2時間を基本設計にする。介護職の負担を軽減し、継続参加率の向上を図る。

2. みんなで目指すゴールの共有

本事業目的と参加者が「自分が伝えたい・表現したい内容」との間にズレが生じるケースがあったため、講座の最初に「本事業のミッション」を全受講生へ共有。また告知ページにも目的をよりわかりやすく記載する。

3. 一歩踏み込んだブラッシュアップ

実践コースの参加者を限定し、チューターによる企画や制作へのアドバイスを重点的に実施。編集者・クリエイターを巻き込み、構成・表現・方法など多角的な観点からブラッシュアップして、より多くの人に魅力が届くアウトプットを生み出す。

4. チームで制作で多様な視点を

「利用者の撮影が難しい」「裁量がない」などでSNSと場づくり講座は課題の実施にハードルがある受講生がいたことから、1人ずつ作品を作る形ではなく受講生で一丸となりアウトプットする形へ変更。アウトプットをより多様な視点で磨くとともに、受講生は他者と協働する経験値を法人に持ち帰り今後の法人内でのチーム形成への足掛かりとする。

受講生の数とアウトプットについて

令和8年度は、実践コースの定員を絞って開催します。動画講座では受講生全員で1本の動画を制作し、ライティング講座および場づくり講座では、プロの伴走支援のもとアウトプットの制作を行います。また、令和7年度は「アーカイブコース」としてアーカイブ視聴のみの形式でしたが、令和8年度はアーカイブ配信に加え、リアルタイムでの参加も可能とし、「視聴コース」へと変更します。（※一部の講座を除く）

実践コース

受講生数目標：60名(各講座20名)



動画講座

動画本数 **1本**

受講定員 **20名**



ライティング講座

記事本数 **20本**

受講定員 **20名**



場づくり講座

イベント本数 **2本**

受講定員 **20名**

視聴コース

受講生数目標：440名

(令和7年度申込実績 実践コース139名／アーカイブコース306名 計445名)

スクール全体像

6月上旬

告知開始

募集説明会の開催 @オンライン

スクールの受講生募集のための集客がメインの目的ですが、発信することの重要性の理解や自身の仕事への誇りを持つ機会、発信してみたいという意欲醸成を意識した企画を実施します。

8月上旬

スクール開校

全体オリエンテーション@オンライン



動画講座



ライティング講座



場づくり講座

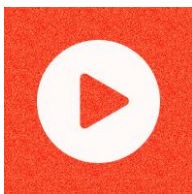
1月中旬

受講生・運営から発信へ

イベント実施

事業報告へ

講座① 動画講座 「介護職みんなで創る！バズる動画制作講座」



動画講座では、**介護の魅力や仕事のやりがい**を伝える動画の企画・制作を実践的に学びます。近年、SNSやWebサイトなどで動画による情報発信が広がり、幅広い世代に仕事の魅力を届ける手段として活用が進んでいます。本講座では、介護現場で働く人だからこそ伝えられるリアルなエピソードや日常の魅力を題材に、**視聴者の心に届く動画のアイデアづくりや構成、撮影・編集の工夫**を学びます。参加者同士でアイデアを出し合いながら動画制作に取り組み、介護の魅力が自然と広がる発信を目指します。

プログラム内容

	テーマ	学習内容
第1回	心に届く動画の作り方①	介護の仕事の魅力を再発見するワークショップ
第2回	心に届く動画の作り方②	バズる動画事例の紹介と分析・チーム(5人程度)に分かれてアイデアソン 課題：チームごとに次回企画案プレゼン
第3回	発表	企画案発表 → 投票で一案に絞る・制作の進め方 動画の撮り方レクチャー
第4回	完成試写会	できた作品をみんなで視聴・発信へ 振り返り

※プログラムは、変更になる可能性があります。

プログラム全体講師



山田英治 社会の広告社 代表取締役 クリエイティブディレクター 映画監督

早稲田大学 政治経済学部卒業。博報堂入社後、コピーライター、CMプランナーを経て独立。2018年より社会テーマ専門のクリエイティブエージェンシー 株式会社 社会の広告社を設立。脚本家、映画監督、構成作家、作詞家、イベントプロデューサーとして多岐にわたる活動を展開。NPO、NGOの広報キャンペーンや社会福祉法人のブランディング、内閣府、経済産業省、環境省、復興庁、厚生労働省などの広報戦略、神戸市、芦屋市、淡路市、洲本市、豊岡市、奈良市、和歌山県などのエリアブランディングを担当。若手福祉職によるスピーチコンテスト「社会福祉HERO'S」の企画の立ち上げから参加。プロデューサー、スピーチコンサルタントとして、多くの福祉職との関わり中、福祉の仕事の面白さを知り、様々な福祉系の団体の広報や発信に積極的に関与している。
受賞歴：ACC賞、環境コミュニケーション賞、読売広告賞、国際グリーンイメージ賞、宝塚映画祭グランプリ他。

講座② ライティング講座 「“伝えたい”が“伝わる”ためのライティング」



ライティング講座では、情報発信の基礎スキルである「書く力」に焦点を当て、**介護の魅力や現場の思いを言葉で伝える力**を学びます。近年、noteなどのブログや施設のホームページ、会報誌など、文章で介護の魅力を伝える機会は多くあります。本講座では、**伝えたい思いを整理し、読み手に届く文章の構成や表現の工夫を学びながら、心に届く文章を書く実践的なスキル**を身につけます。介護の現場で働く人のリアルな言葉が社会に届く発信を目指します。

プログラム内容

	テーマ	
第1回	「自分の声に耳を傾ける or 他者の声に耳を傾ける」	
第2回	伝わるための企画のつくり方	
第3回	“伝えたい”が“伝わる”ための構成案	
第4回	伝えたい相手に届く表現へ（推敲・編集）	

※ゲスト・プログラムは、変更になる可能性があります。

プログラム全体サポート



垣花 つや子 こここ編集部メンバー

学生時代演劇を専攻。大学院に進学し「認知症介護と演劇的な手法」をテーマに研究を模索、挫折。その後、いくつかの企業でウェブの編集を経験、フリーランスに。アートプロジェクトの記録や高齢介護領域の情報発信サポートなどを務める。2021年4月より福祉をたずねるウェブマガジン「こここ」編集部のメンバーとして企画・編集を担う。名前は大切な人からいただいたペンネーム。

講座③ 場づくり講座 「地域を編集し、場をつくる」



場づくり講座では、介護施設や介護職が地域の中で人とつながり、**介護の魅力を伝える「場」を生み出す方法**を実践的に学びます。SNSなどの情報発信だけでなく、地域の中で人と直接関わる機会をつくりながら、介護の魅力を少しずつ広げていく**「地道な魅力発信」**を本講座の主なフィールドとします。本講座では、**参加者それぞれの施設や地域を起点に、介護の魅力や価値が伝わる企画づくりから実施までを体験しながら、地域の中で小さくても強い関係性を育む場づくり**を学びます。

プログラム内容

	テーマ	学習内容
第1回	地域を編集し、場をつくる	「場づくり」とは何かを理解し、人が集まる企画の作り方を学ぶ。ゲストに小國士郎さんを迎え、届きづらいテーマの編集や、地域・施設の日常を魅力に変える視点を学ぶ。
第2回	全国各地で取り組まれるさまざまな場づくりの事例を知る	介護・福祉領域を中心とした全国の場づくり事例を学び、地域住民や多様な関係者を巻き込む工夫や、現代社会で場づくりが求められる背景を理解する。
第3回	場を円滑に進めていくスキル「ファシリテーション」について学ぶ	多様な人を巻き込み場を進めるための「ファシリテーション」の基礎を学ぶ。グループワークやロールプレイを通して実践的にスキルを身につける。
第4回	受講生同士での学び合い+各施設・地域での企画プレゼンテーション！	受講生同士の学び合いを行いながら、各施設・地域で実施予定の場づくり企画をプレゼンテーション。相互フィードバックを通して企画を磨き上げる。

スクールについての補足事項

開催方法	<ul style="list-style-type: none"> 各講義は全国から参加しやすいよう原則オンラインにて開催 各講義のアーカイブ動画を残し、受講生はいつでも視聴可能
講座について	<ul style="list-style-type: none"> 1回2時間・平日の日中に実施を予定 月に1回を目安に各講座全4回(令和7年度は5回実施していましたが負担感を減らすため4回に)
参加条件について	<ul style="list-style-type: none"> 法人としての参加、個人としての参加のどちらも可能 法人としての参加の場合、法人のSNSの活用/ブログ更新ができることが条件 全プログラムのうち原則すべての回に参加できること。やむを得ず不参加となる場合は、アーカイブ動画での講義視聴を必須とする。2回以上不参加となる場合は、参加を認めない 無料で参加できる 同じ法人で複数人の参加も可(1事業所3人まで) 1人で複数のプログラムの同時参加は不可とする(課題などコミットいただく必要があるため)
定員について	<ul style="list-style-type: none"> 定員数はP.39記載の通りである。 応募者多数の場合は、エントリー情報の内容から採択者を選ぶものとする。 応募者多数で選定となった場合は、エリアに偏りや事業種別の偏りなどを考慮し、幅広い属性の人が参加できるように考慮したいと考える 応募者選定にあたっては、厚生労働省の担当者と相談の上確定する
その他	<ul style="list-style-type: none"> 対面実施の際にコロナウイルス・インフルエンザ等の蔓延等、参加者にとって参加のリスクが大きいと判断される場合は、オンラインでの対応や会場の感染対策に十分に配慮する

スクールについての補足事項

● アーカイブについて

講座のアーカイブ動画は実践コース・視聴コースの受講生のみ公開いたします。一部の動画は実践コースのみの公開となる場合があります。



● 学びの環境について

受講生が安心・安全に学べる環境を大切にします。また、講座内での対話や交流を通じて学びを深められる機会を設けるとともに、講師や受講生同士で相談しやすい環境を作ります。

【令和7年度の受講生のアンケート結果より】

	SNS	ライティング	場づくり
講座受講における「発信することに対する心理的ハードル」の変化	80%が下がったと回答	80%が下がったと回答	93%が下がったと回答
介護職である事の誇り（自己肯定感）の向上	73%が向上	68%が向上	80%が向上
講座を通じて、今後の仕事や発信に活かせる知識やスキルを学びの向上	100%	100%	100%

80%以上の受講生が**発信することに対する心理的ハードルが下がった**と回答

スクールの広報について - 募集説明会

プログラムの告知開始後、スクールの認知拡大・集客に向けて募集説明会をオンラインで開催します！募集説明会では、受講開始後のミスマッチとならないように課題についてやプログラムの流れを説明します。プログラム講師や1期生をゲストに招き、スクールの魅力や雰囲気を感じてもらえる企画とします。



KAIGO LEADERS .
SCHOOL 場づくり講座 プチ体験会

Chapter 5. **9.11** 19:00~20:00

介護と“場づくり”って、
どうつながるの？

【講師】
藤本 遼
株式会社ここにある代表取締役/場を織む人

開校前に、講座の雰囲気を少しだけ体感！



法人向け
KAIGO LEADERS .
SCHOOL 開校説明会

伝える力が、
介護の未来をつくる！

秋本可愛
KAIGO LEADERS 法人
専任講師/場づくり講座講師

SNS・ライティング・場づくり 講座募集

8.21 | 8.26 14:00~14:45 ONLINE

令和7年度は法人向けにも募集説明会を開催。アウトプットありきのスクールの性質上、「現場の様子を撮影」へのご協力や、「勤務時間外に課題に取り組んでいただくことになる可能性」などに対する理解をいただく必要があるため、丁寧に説明し、理解していただいた上での参加の依頼をします。

KAIGO LEADERS SCHOOL AWARD 2026について

令和7年度は実践コースの受講生の作品を対象に実施した「KAIGO LEADERS SCHOOL AWARD」ですが、令和8年度は対象を受講生全体へと広げて実施します。今期の実践コース受講生はもちろん、昨年度の受講生にとっても再びチャレンジできる機会づくり、さらには視聴コースの受講生がより実践につながる機会として対象者を広げて開催します。受講生一人ひとりの発信やアクションを促し、結果として介護の仕事の魅力発信が広がっていく仕掛けとします。

● 賞について

賞は記事・動画など作品のカテゴリーごとに設けます。昨年度事業間連携にてマガジンハウス社、朝日新聞社にご協力いただきました。今年度も採択企業と賞の設定・表彰後のメディア掲載等での連携を図っていかねばと考えています。

〈賞と企業の連携イメージ〉

エピソード部門	マガジンハウス「こここ」賞	「こここ」に紹介記事を掲載(2025にて実施)
映像部門	楽天「知る。わかる。介護のしごと」賞	「知る。わかる。介護のしごと」に映像掲載
アクション部門	朝日新聞「これからのKAIGO」賞	「これからのKAIGO」に紹介記事を掲載(2025にて実施)

● アワード開催概要

イベントは、場づくり講座受講生による東京開催の「介護の魅力発信イベント」(p.49-50)内で実施します。



メディア連携について

2026年3月10日

介護の魅力発信、「キラキラ」よりも等身大の「モヤモヤ」を。そのリアルが一番刺さるはずだから。

超高齢化 社会福祉士 介護福祉士 処遇改善 共生社会 人手不足 介護経営 住まい
障害福祉 訪問介護 通所介護 ケアマネ 介護施設

ブログ シェアする



介護ニュースJoint

WEB版先行/限定号

KAIGO LEADERS、介護職の成果を表彰するアワード開催 現場の課題解決や魅力発信を評価

介護
2026年2月26日



Blanket（東京都文京区）が運営する「KAIGO LEADERS」は2月22日、介護・福祉職向けのオンラインスクール受講生による成果を表彰する「KAIGO LEADERS SCHOOL AWARD 2025」を開催した。本イベントでは、4か月間のプログラムを通じて情報発信や組織改善に取り組んだ全国の受講生の成果を表彰している。同スクールは、現場の課題解決や魅力発信を担う人材の育成を目...

高齢者住宅新聞



欄上で一緒にできること。

福祉を伝えるデジタルメディアマガジン
WEB/印刷

ニュース&トピックス
2025.08.28

SNS/ライティング/場づくりをみんなで学べる！介護・福祉に特化したオンラインスクール「KAIGO LEADERS SCHOOL」2025年10月開校

講座・ワークショップ情報

マガジンハウス「こここ」

ニュース | 2025/08/18

【8/31締切・受講無料】「介護の魅力発信」の実践学ぶ「KAIGO LEADERS SCHOOL」10月開校

2025年 人材確保 介護の魅力 研修・教育



シルバー産業新聞

弊社は創業以来、さまざまなメディアから取材を受け、介護の現場の取り組みや魅力を社会に発信してきました。これまでに築いてきた100名以上のメディア関係者とのネットワークを活かし、本事業についても企画段階からメディアへの情報提供や取材誘致を行い、継続的な掲載につなげていきます。令和7年度は、業界誌や介護業界向けメディアを中心に本事業の取り組みを掲載いただきました。令和8年度は、SNSキャンペーンや「介護の日」の取り組みと連動し、一般メディアやオンラインメディアへの露出を強化し、介護職以外の層にも介護の仕事の魅力が届くよう社会的な発信を広げていきます。

事業間連携について

1.集客・広報連携

本事業の宣伝期間における周知、またスクール開校後の取り組みの周知についてお力添えいただきたいと考えています。加えて、本事業で実施するSNSキャンペーンの周知・拡散についてもご協力いただくことで、より多くの介護職や関係者への参加を促進していきたいと考えています。

連携にあたり、事業主体として必要な素材（画像・記事・メール文等）は弊社で準備いたします。

また、本事業で関わる介護職並びに介護事業者に周知を行いたいコンテンツについては、弊社ネットワークも活用し、積極的に発信に協力いたします。

2.企画連携

P.59に記載したKAIGO LEADERS SCHOOL AWARD 2026にて、「こここ賞」(マガジンハウス社)「朝日新聞 これからのKAIGO賞」など、事業主体と共に事業を盛り上げる企画ができないか、採択事業者確定後、企画・調整を行います。

3.受講生の成果物の発信協力依頼

スクール受講生の「記事」「ショート動画」の成果物をより多くの人に見てもらえるような発信の連携を期待します。とくに優れた成果物を各メディアに掲載いただいたり、動画の広告掲載などご相談できればと考えております。

4.介護事業者・介護職の紹介

本事業で関わる介護職並びに介護事業者または、弊社が全国の事業者とつながりがあるため、企画に合わせてご紹介をさせていただくことが可能です。

例)昨年、一昨年のananでの特集の取材先は、弊社が提案・ご紹介させていただきました。

アウトカム・事業評価について

※事業のアウトプット・アウトカム等の設定については、ご助言をいただきながらアップデートし、より効果的で本質的な事業実施に努めます。

【アクティビティ】

<p>①KAIGO LEADERS SCHOOL (P31～P51)</p> <ul style="list-style-type: none">①-A 動画講座①-B ライティング講座①-C 場づくり講座	<p>② 介護魅力発信イベント (P.49～P.50)</p>	<p>③参加型キャンペーン (P.22～P.32)</p>
---	---------------------------------	-------------------------------

【アウトプット】

- ①KAIGO LEADERS SCHOOL
 - ・講座実施回数：動画講座・ライティング講座・場づくり講座の3講座を各4回
 - ・視聴コース受講生：440名 ・実践コース受講生：各講座20名
 - ①-A 動画講座
 - ・動画講座実践コース受講生20名による動画1本の制作
 - ・動画のYouTube再生回数：10,000回以上
 - ①-B ライティング講座
 - ・ライティング講座実践コース受講生による記事20本の制作
 - ・記事の閲覧数：5,000PV以上
 - ①-C 場づくり講座
 - ・場づくり講座受講生によるイベント2回の実施
- ②介護魅力発信イベント
場づくり講座実践コース受講生が主体となり、介護の魅力発信イベントを実施。
 - ・開催回数：2回 ・メディア掲載数：6媒体
 - ・介護職の参加者数：70名以上・介護職以外の参加者：30名以上
- ③参加型キャンペーンの実施
11月11日介護の日にコンテンツを披露。
 - ・介護職によるエピソード投稿：40件以上
 - ・キャンペーンサイトの閲覧数：50,000pv以上

【短期アウトカム】

【介護職へのアウトカム】

- 講座・発信を通じて、介護職自身の仕事への誇りや職業意識の向上が生まれる。(①,②)
- 介護職が自身の仕事の魅力や価値を言語化し、SNS・記事・場づくりなどの形で発信できるようになる。(①,②)
- 編集者やクリエイターと協働することで、プロのスキルが得られ、魅力発信に活かすことができる。(①)

【現在介護職ではない人へのアウトカム】

- 動画・記事・イベントなどを通じて、介護の仕事のリアルな魅力に触れる機会が増える(②,③)
- キャンペーンの大きな話題化により、介護の仕事に関する情報接触機会を拡大する。(②,③)

【長期アウトカム】

- 介護の仕事に関する社会的評価が高まる。
- 介護の仕事に関する情報に触れたことのある人が増える。
- 介護の仕事内容に興味・関心を持つ人が増える。

事業評価指数

※事業のアウトプット・アウトカム等の設定については、ご助言をいただきながらアップデートし、より効果的で本質的な事業実施に努めます。

	業務項目	内容	指数	数値
介護職へのアプローチ	①KAIGO LEADERS SCHOOL	講座視聴コースの実施	受講生数	440名
	①KAIGO LEADERS SCHOOL	受講アンケート	仕事への誇り	誇りがあると回答した者の割合：70%以上
	①KAIGO LEADERS SCHOOL	受講アンケート	発信意欲の向上	向上としたと回答した者の割合：70%以上
	①KAIGO LEADERS SCHOOL	受講アンケート	ノウハウの取得	学びがあったと回答した者の割合：90%以上
	①-A 動画講座	実践コースの実施	受講生数／実施回数	20名／4回
	①-B ライティング講座	実践コースの実施	受講生数／実施回数	20名／4回
	①-C 場づくり講座	実践コースの実施	受講生数／実施回数	20名／4回
	①-A / ①-B / ①-C 各講座	実践コース受講生の離脱率	離脱者数（各講座）	5名以内
	②介護魅力発信イベント	イベント実施	参加者数（介護職）	70名以上
	③参加型キャンペーン	エピソード応募参加	エピソード応募数	40件以上
現在、介護職ではない人へのアプローチ	①-A 動画講座	実践コース受講生との動画制作	制作本数	1本
	①-A 動画講座	動画の発信	YouTube再生回数	10,000pv
	①-B ライティング講座	実践コース受講生による記事制作	記事数	計20本
	①-B ライティング講座	記事の発信	閲覧数	5,000pv
	①-C 場づくり講座	実践コース受講生企画のイベント実施	イベント回数	2回
	②介護魅力発信イベント	イベント実施	参加者数（介護職以外）	30名以上
	②介護魅力発信イベント	イベントアンケート実施	参加者数（介護職以外）	介護の仕事に対する印象がよくなったと回答した者の割合：60%以上
	②介護魅力発信イベント	イベントアンケート実施	参加者数（介護職以外）	介護の仕事の社会的重要性を感じたと回答した者の割合：60%以上
	②介護魅力発信イベント	イベントアンケート実施	参加者数（介護職以外）	介護の仕事に興味・関心を持ったと回答した割合：30%以上
	②介護魅力発信イベント	メディア掲載	メディア掲載数	6媒体
③参加型キャンペーン	コンテンツ公開	Web閲覧数	50,000pv. ※2	

※1ライティング講座・場づくり講座のプログラムには実践コースだけでなく視聴コースの受講生もリアルタイムで参加が可能です。

※2③参加型キャンペーンは、キャスト確定後「動画視聴回数」等、企画に応じて設定いたします。